

10月から市内地域公共交通網が変わります～Q&A編～

市では、本年10月に市内地域公共交通の一体的な再編を予定しています。各公共交通が変わることに関する質問についてお答えします。

各公共交通の10月からの主な変更点

市民バス

これまで運行していた市民バスは、廃止となります。

乗合タクシー(市の社会福祉協議会が運営)

廃止する市民バスをカバーするため、運行便数と運行車両数を増やします。運賃は、これまでと同様に一律300円ですが、75歳以上の方は利用券を割引価格で購入できるようになります。

路線バス(茨城交通(株)が運行)

JR常陸大宮駅と市内各地域を結ぶ路線を再編します。各地域から市街地への移動のほか、通学や市内の温泉・温浴施設への移動も可能です。運賃は、これまでの距離制運賃から、市内は一律200円となります。

【Q1】病院や買い物などをするために市民バスを利用していましたが、市民バスがなくなったら、これからどうすればよいでしょうか？

【A1】ご自宅から目的地まで移動できる乗合タクシーが便利です。また、ご自宅が路線バスの沿線に近い場合は、路線バスを利用することもできます。

【Q2】乗合タクシーの利用方法がわかりません。どのようにすればよいでしょうか？

【A2】乗合タクシーを利用する場合は、事前に利用登録の手続きを行う必要があります。登録するには、「利用登録票」を市社会福祉協議会へ提出し、手続きします。利用登録のお申込や利用方法など、まずは、お気軽に市の社会福祉協議会(☎53-1125)へお問合せください。

■公共交通に関する問い合わせ■

企画政策課 企画政策グループ ☎52-1111(内線310)

まちのできごと

5/21 「みどりの愛護」功労者表彰

市内で活動する栄町環境美花クラブ(代表:鴨志田紘二さん)が、第30回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞されました。栄町環境美花クラブは平成19年の発足以来、地域の緑化や環境を守ることを目指して、月1～2回の道路の除草や清掃作業を行うとともに、花壇の手入れや尺上山の森林環境保全活動などにも積極的に取り組んでいます。



▲(右) 三次真一郎市長に報告する鴨志田紘二代表

5/28 市内企業と常陽銀行が寄贈

水戸北部中核工業団地内にある大野ロール株式会社と常陽銀行が、大宮西小学校へ鼓笛用フラッグ(旗)16本を寄贈されました。大宮西小学校では、5、6年生による運動会での鼓笛隊の演奏とカラーガード隊の演技が伝統であり、寄贈されたフラッグは今年の運動会から使用されました。川又寛実校長は「軽量で色鮮やかな新しいフラッグは児童や保護者から好評でした。今後も大切に使用します。」と話していました。

この寄贈は、寄贈サービス付私募債を利用したものです。



▲(左から) 鼓笛用フラッグを持つ山崎修支店長、
箭内良行代表取締役社長、川又寛実校長